

平成 30(2018)年 2 月 7 日
吹田市立第三中学校
校長 山口 廣治
教育課程委員会

保護者の皆様

学校教育アンケートの結果について

平素は本校の教育活動に、ご支援とご協力を賜りありがとうございます。さて、12月に実施しました学校教育アンケートに、ご協力ありがとうございました。心より御礼申し上げます。つきましては、分析結果をお知らせします。

今後、アンケートの結果を踏まえ、本校教育のより一層の充実に向けて取り組んでいきますので、よろしくお願い申し上げます。

【保護者アンケートから】

1. 保護者の高い学校への関心

今回の保護者対象アンケートの回収率は 85%でした。昨年に続き、多くの保護者の方が、学校教育活動に高い関心を示していただいている現れと捉えています。

2. 学校の取り組みには概ね肯定的

アンケート 24 項目中、高い評価（肯定的な回答率が 80%以上）のあった項目が 10 項目、概ね高い評価（肯定的な回答率が 79%～60%）のあった項目が昨年より 3 項目多い 20 項目となりました。一方、やや低い評価は 2 項目でした。以上の結果から、本校の教育活動については、概ね肯定的に捉えていただいていると思えますが、目標に届いていないものも残っており、今後も課題改善にむけた努力が必要と考えます。

3. 魅力ある教育活動

「子どもは、文化祭、体育大会、校外学習などの行事に、積極的に参加している」については、今回も 8 割以上の肯定的な回答がありました。また、「子どもは学校に行くのを楽しみにしている」、「学校の雰囲気良く、子供たちはいきいきしている」、「子どもは部活動を楽しみにしている」についても、肯定的な回答が昨年度を上回り 8 割を超えています。今後も、これらの活動を通して、成長する姿を見て頂きたいと考えています。

4. 学校の説明責任について

「学校は、保護者が授業参観をする機会をよく設けている」については 9 割近くの肯定的な回答がありました。今年度も休日参観を実施し、生徒の姿をご覧いただきました。また、教育方針をわかりやすく伝えていることや、家庭との意志疎通をはかることについては概ね肯定的な回答でした。今後も保護者の方に、学校の方針や学校目標・教育内容を積極的にお知らせし、理解を深めていただけるよう工夫していききたいと考えています。

5. 今後も学校の危機管理は万全に

子どもの安全確保については、「台風や火災・地震時などの対応について、生徒や保護者に行動マニュアルが知らされている」については、昨年度を超える 9 割以上の肯定的な回答がありました。学校としては、子どもの命を守り、安心・安全を確保することは、最重要課題であると認識しており、これまでも専門機関等と連携した避難訓練を実施してきました。今後も、学校の危機管理を高めるとともに、犯罪防止教室等を開設して、子どもたちの危機回避能力の育成に努めていききたいと考えています。

6. 改善が必要な事項

「子どもは学校の授業が楽しくわかりやすいと言っている」については、わが校では授業研究等を積み重ねた結果、昨年を上回りましたが、これからも、学校の中核は授業であるという認識のもと、授業研究等を積み重ね、「わかる授業」、「学ぶ楽しさが実感できる授業づくり」をすすめ、重点的に取り組んでいきたいと考えています。また、子どもの悩みや相談に対応できるように、子どもとの信頼関係を築いていくことや、子どもたちに人権意識や社会のルールやマナーを身につけさせることも大変重要であると捉えています。今後とも、これらの課題の克服のために、道徳教育・人権教育の推進に取り組んでいきます。

【生徒アンケートから】

1. 今後改善が必要と思われるところ

「授業でわからないことは、先生に質問しやすい」は、肯定的な回答が8割近くあり、「悩みを相談できる先生がいる」については、昨年に比べると増え7割を越えました。しかし、一部の子どもたちは授業や学習内容については質問できるが、個人的な悩みについては相談しにくいところがあるようです。中学生になると、悩みを打ち明けるのは大人よりも同じ悩みを共有する友人と考える傾向が強くなります。引き続き、すべての教職員がカウンセリングマインドを身につけ、学級担任を中心としてお互いに連携し、ひとりひとりの子どもの様子に気を配り、きめ細かな指導に努めてまいります。また、週に一回スクールカウンセラーも来校していますので、その利用も呼びかけていきます。

また、「学級活動では、意見を発表する機会が多い」については、肯定的な回答が8割を超えています。今後も、自分の考えを自分の言葉で伝える力の育成に努めていきたいと考えています。さらに子どもたちの実態を正しく把握し、教育活動に反映させていきたいと考えています。

2. 三校に行くのが楽しい

「学校に行くのが楽しい」については8割を超える肯定的な回答がありました。今回も「学校行事やクラブ活動への参加を楽しみにしている」と、回答している生徒の割合も多く、子どもたちは概ね学校生活に満足している様子が伺えます。「総合的な学習の時間は教科以外のいろんなことを学べる機会が多い」について、昨年度を上回る8割を超える肯定的な回答がありました。子どもたちは教科以外の学習でも積極的に取り組んでいます。また、「将来の進路や生き方について考えたことがある」については、学年が上がるほど肯定的な回答が多く、全体としても7割を超えています。「生徒会活動が活発である」についても、肯定的な回答が8割近くありました。今後も、魅力ある学校づくりをめざして、積極的な改革に取り組んでいきます。

3. 評価は納得できる

「通知票の学習成績の評価は理解できる」については、今回も昨年度を上回る8割以上の肯定的な回答がありました。今後も学習指導要領の趣旨を十分理解するとともに、教育の動向も踏まえながら適切な評価を心がけていきます。

【生徒・保護者アンケートを通じて】

1. 家で学校の話をしている

昨年度から「家で学校生活についてよく話をする」という項目を新たに付け加えました。これについては生徒、保護者共に7割近くの肯定的な回答がありました。ご家庭の中で学校の話をして頂いていること大変嬉しく思っています。今後ご家庭の話題に上がるような魅力ある学校づくりをめざしていきます。